平成29年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月４日

上場会社名	こころネット株式会社		上場取引所　東
コード番号	6060	ＵＲＬ　http://www.cocolonet.jp/	
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）齋藤　高紀	
問合せ先責任者	（役職名）常務取締役	（氏名）羽田　和徳	ＴＥＬ　024-573-6556
四半期報告書提出予定日	平成28年11月11日	配当支払開始予定日	平成28年12月１日

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無

四半期決算説明会開催の有無　　　　：　無

（百万円未満は切捨て）

１．平成29年３月期第２四半期の連結業績（平成28年４月１日～平成28年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年３月期第２四半期	5,767	1.1	424	144.1	520	105.3	381	82.1
28年３月期第２四半期	5,703	△0.7	173	△21.6	253	△19.5	209	△6.0

（注）包括利益　29年３月期第２四半期　327百万円（54.8%）　28年３月期第２四半期　211百万円（3.5%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年３月期第２四半期	99.28	―
28年３月期第２四半期	54.53	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年３月期第２四半期	21,117	8,533	40.4	2,220.63
28年３月期	21,310	8,263	38.8	2,150.41

（参考）自己資本　29年３月期第２四半期　8,533百万円　28年３月期　8,263百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年３月期	―	15.00	―	15.00	30.00
29年３月期	―	15.00			
29年３月期（予想）			―	15.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成29年３月期の連結業績予想（平成28年４月１日～平成29年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,280	1.1	688	63.1	833	40.8	577	62.9	150.36

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（注）詳細は、添付資料Ｐ．５「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年３月期２Ｑ	3,843,100株	28年３月期	3,843,100株
②　期末自己株式数	29年３月期２Ｑ	125株	28年３月期	125株
③　期中平均株式数（四半期累計）	29年３月期２Ｑ	3,842,975株	28年３月期２Ｑ	3,842,975株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5
（４）追加情報 …… 5
３．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 12
（継続企業の前提に関する注記） …… 12
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 12
（セグメント情報等） …… 12
４．施行件数の状況 …… 14

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益等で底堅い動きが見られるものの、中国や新興国の経済の減速や円高傾向の継続等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業基盤となる福島県の経済は、東日本大震災からの復旧・復興への取組み等により、一部に弱い動きがみられるものの緩やかに回復を続けております。

このような環境下、当社グループでは、知名度・ブランド力の向上のためにテレビ・ラジオコマーシャル、Ｗｅｂ広告等によるプロモーション活動を積極的に行いました。更に営業エリア内でのシェアアップに向けた取り組みとして、これまで葬儀・石材・婚礼それぞれの分野で異なっていた企業向けの特典を集約・拡充した「こころネットパートナー特典」への加入促進活動を積極的に推進しました。また原価・経費面では、円高の影響により仕入コストが減少したことに加え、広告宣伝費等の圧縮にも努めました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間における当社グループの売上高は5,767百万円（前年同期比1.1％増）、営業利益は424百万円（同144.1％増）、経常利益は520百万円（同105.3％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は381百万円（同82.1％増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであり、売上高については、セグメント間の内部売上高または振替高を除き表示しております。

なお当社は、事業子会社の経営統括を主たる目的とする純粋持株会社であり、各連結子会社からの不動産賃貸料収入、経営管理料収入及び配当金を主たる収益としております。一方で、各セグメント(各連結子会社)の営業費用には、当社に対する不動産賃借料及び経営管理料が計上されております。

①　葬祭事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、死亡者数は微増傾向にあるものの、同業他社との競争は激化しており、また小規模葬儀の割合も増加傾向にあります。

このような状況の下、福島県内の企業に向けた「こころネットパートナー特典」への新規加入営業、及び「健康」や「終活」をテーマとしたセミナーの開催や互助会会員宅への訪問等の地域営業を強化しました。また、葬儀施行後の法事受注・仏壇仏具等の販売及び互助会への再加入の勧誘といったアフターフォロー営業を推進しました。その結果、売上高は2,621百万円（前年同期比5.9％増）、営業利益は85百万円（同20.5％増）となりました。

②　石材卸売事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、墓石の小型化や埋葬方法の多様化等により墓石需要の低迷が継続しました。

このような状況の下、インド・ベトナム加工墓石等の差別化商品の販売強化に努めましたが、受注の増加には至りませんでした。一方で円高による仕入コストの減少に加え、経費圧縮に努めた結果、売上高は884百万円（前年同期比7.8％減）、営業利益は91百万円（同32.4％増）となりました。

③　石材小売事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、一部で復興に向けた改葬の動きが見られたものの、埋葬方法の多様化等により墓石需要の低迷が継続しました。

このような状況の下、インド加工墓石の販売や寺院への永代供養塔の提案に注力しましたが、新規建立件数の増加には至りませんでした。一方で仕入価格が低下し、更に経費の削減に努めた結果、売上高は662百万円（前年同期比5.9％減）、営業利益は54百万円（同125.8％増）となりました。

④　婚礼事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて婚礼施行件数が減少傾向にある中、婚礼ニーズの変化や同業他社の新規出店もあり、競争は更に激化しました。

このような状況の下、Ｗｅｂプロモーションの強化等により集客力のアップを図るとともに付加価値商品の販売強化に努めました。また、広告宣伝費の見直し等による経費削減を行いました。その結果、売上高は1,235百万円（前年同期比1.1％増）、営業利益は23百万円（前年同期は営業損失56百万円）となりました。

⑤　生花事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、生花需要は低調に推移しました。

このような状況の下、新規取引先を開拓するとともに、既存取引先への積極的なアプローチを継続しました。また、仕入及び経費の圧縮に努めた結果、売上高は276百万円（前年同期比1.3％減）、営業利益は66百万円（同40.6％増）となりました。

⑥　互助会事業

互助会事業の株式会社ハートライン及び株式会社互助システムサークルは平成28年７月１日付で合併し、経営効率化を図りました。また会員数の増加を図り、互助会を利用した葬儀及び婚礼施行の増加に努めました。その結果、売上高は0百万円（前年同期比9.8％減）、営業損失は14百万円（前年同期は営業損失42百万円）となりました。

⑦　介護事業

介護事業につきましては、医療機関・居宅介護支援事務所との連携により、サービス付き高齢者向け住宅の入居率は高水準を維持しました。その結果、売上高は45百万円（前年同期比68.1％増）、営業損失は0百万円（前年同期は営業損失7百万円）となりました。

⑧　その他

その他の装販部門につきましては、訪問営業による棺及び葬具附帯商品の販売に注力しました。その結果、売上高は38百万円（前年同期比20.1％増）、営業損失は3百万円（前年同期は営業損失4百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①　資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ101百万円増加し5,213百万円となりました。これは主に現金及び預金、その他（短期貸付金等）が増加したこと等によるものです。

（固定資産）

当第２四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ294百万円減少し15,903百万円となりました。これは主に減価償却費計上により建物及び構築物が減少したこと等によるものです。

（流動負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ261百万円増加し2,536百万円となりました。これは主に短期借入金、未払法人税等及び賞与引当金が増加したこと等によるものです。

（固定負債）

当第２四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ724百万円減少し10,047百万円となりました。これは主に長期借入金及び前払式特定取引前受金が減少したこと等によるものです。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ269百万円増加し8,533百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益381百万円に伴う利益剰余金の増加等によるものです。

②　キャッシュ・フローの分析

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ300百万円増加し1,439百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローで得られた資金は852百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上533百万円、減価償却費の計上272百万円、賞与引当金の増加額61百万円、未払消費税等の増加額22百万円及び法人税等の支払額105百万円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローで得られた資金は92百万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入766百万円、定期預金の預入による支出535百万円、有形固定資産の取得による支出44百万円、貸付けによる支出112百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローで使用した資金は644百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入260百万円、短期借入金の純増額112百万円、長期借入金の返済による支出952百万円によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年５月13日付「平成28年３月期決算短信」にて公表しました平成29年３月期通期の連結業績予想及び個別業績予想につきましては、業績予想を修正しております。詳細は平成28年10月28日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第２四半期連結会計期間において、株式会社互助システムサークルは、株式会社ハートラインを存続会社とする吸収合併により解散したため、連結の範囲から除外しております。これにより、連結子会社の数は１社減少しております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号　平成28年６月17日）を第１四半期連結会計期間に適用し、平成28年４月１日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

（４）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号　平成28年３月28日）を第１四半期連結会計期間から適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成28年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成28年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,320,075	2,388,989
受取手形及び売掛金	772,003	707,627
有価証券	1,184,425	1,192,175
商品及び製品	425,444	398,013
仕掛品	38,203	50,090
原材料及び貯蔵品	29,966	34,638
その他	377,032	478,272
貸倒引当金	△34,921	△35,884
流動資産合計	5,112,230	5,213,922
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,675,477	6,493,905
土地	4,990,654	4,985,298
その他（純額）	217,249	180,167
有形固定資産合計	11,883,380	11,659,371
無形固定資産		
のれん	155,725	148,685
その他	46,467	43,119
無形固定資産合計	202,192	191,804
投資その他の資産		
投資有価証券	1,804,770	1,807,860
営業保証金	675,269	658,397
その他	1,688,724	1,641,205
貸倒引当金	△56,393	△55,188
投資その他の資産合計	4,112,371	4,052,275
固定資産合計	16,197,945	15,903,451
資産合計	21,310,175	21,117,374

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成28年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成28年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	352,108	326,083
短期借入金	400,000	512,000
1年内返済予定の長期借入金	742,468	732,568
未払法人税等	64,092	153,989
賞与引当金	155,832	216,912
その他	560,425	594,724
流動負債合計	2,274,926	2,536,278
固定負債		
長期借入金	2,271,422	1,589,263
前受金復活損失引当金	64,804	61,223
資産除去債務	142,092	143,359
負ののれん	117,734	111,537
前払式特定取引前受金	7,876,359	7,863,338
その他	298,881	278,556
固定負債合計	10,771,294	10,047,278
負債合計	13,046,220	12,583,556
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,658	500,658
資本剰余金	2,032,312	2,032,312
利益剰余金	5,608,059	5,931,950
自己株式	△120	△120
株主資本合計	8,140,910	8,464,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,322	17,737
為替換算調整勘定	104,721	51,278
その他の包括利益累計額合計	123,044	69,015
純資産合計	8,263,955	8,533,817
負債純資産合計	21,310,175	21,117,374

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成28年４月１日 至　平成28年９月30日)
売上高	5,703,757	5,767,987
売上原価	3,929,758	3,846,798
売上総利益	1,773,999	1,921,189
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	3,729	2,799
給料及び賞与	571,740	561,080
賞与引当金繰入額	93,883	129,146
退職給付費用	20,595	19,834
その他	910,342	784,312
販売費及び一般管理費合計	1,600,292	1,497,172
営業利益	173,707	424,016
営業外収益		
受取利息	15,735	16,653
受取配当金	1,904	2,122
負ののれん償却額	6,196	6,196
持分法による投資利益	－	259
為替差益	7,890	27,146
掛金解約手数料	19,635	21,566
前受金月掛中断収入	28,723	596
その他	42,092	50,326
営業外収益合計	122,178	124,867
営業外費用		
支払利息	22,175	14,728
持分法による投資損失	595	－
前受金復活損失引当金繰入額	12,638	2,768
その他	6,823	10,595
営業外費用合計	42,232	28,091
経常利益	253,653	520,792
特別利益		
固定資産売却益	13,163	39
投資有価証券売却益	1,413	－
保険解約返戻金	6,475	47,017
受取補償金	5,172	－
特別利益合計	26,223	47,057
特別損失		
固定資産売却損	1,384	－
固定資産除却損	0	28,764
減損損失	－	5,900
特別損失合計	1,384	34,664
税金等調整前四半期純利益	278,493	533,184
法人税、住民税及び事業税	61,086	202,667
法人税等調整額	7,863	△51,018
法人税等合計	68,949	151,649
四半期純利益	209,543	381,535
親会社株主に帰属する四半期純利益	209,543	381,535

（四半期連結包括利益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年９月30日）
四半期純利益	209,543	381,535
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,290	△585
持分法適用会社に対する持分相当額	7,379	△53,443
その他の包括利益合計	2,089	△54,028
四半期包括利益	211,632	327,506
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	211,632	327,506
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	278,493	533,184
減価償却費	290,271	272,115
のれん償却額	5,569	7,040
減損損失	－	5,900
負ののれん償却額	△6,196	△6,196
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△2,479	△242
賞与引当金の増減額（△は減少）	9,457	61,079
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△237,000	－
前受金復活損失引当金の増減額（△は減少）	6,927	△3,581
受取利息及び受取配当金	△17,640	△18,775
支払利息	22,175	14,728
為替差損益（△は益）	288	105
持分法による投資損益（△は益）	595	△259
保険解約返戻金	△6,475	△47,017
固定資産売却損益（△は益）	△11,778	△39
固定資産除却損	0	28,764
投資有価証券売却損益（△は益）	△1,413	－
受取補償金	△5,172	－
売上債権の増減額（△は増加）	△13,942	64,375
たな卸資産の増減額（△は増加）	21,441	11,303
未収消費税等の増減額（△は増加）	△3,384	29,402
仕入債務の増減額（△は減少）	△19,802	△26,024
未払消費税等の増減額（△は減少）	△163,457	22,100
前払式特定取引前受金の増減額（△は減少）	△22,441	△13,020
その他	△75,723	△15,827
小計	48,312	919,116
利息及び配当金の受取額	5,694	7,451
保険解約返戻金の受取額	6,475	47,017
利息の支払額	△22,217	△15,227
補償金の受取額	5,172	－
法人税等の支払額	△70,930	△105,453
営業活動によるキャッシュ・フロー	△27,493	852,904

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△534,720	△535,140
定期預金の払戻による収入	677,004	766,000
有形固定資産の取得による支出	△192,178	△44,769
有形固定資産の売却による収入	43,814	40
無形固定資産の取得による支出	△12,997	－
固定資産の除却による支出	－	△2,370
投資有価証券の取得による支出	△257,575	－
投資有価証券の売却による収入	3,160	－
投資有価証券の償還による収入	270,000	－
貸付けによる支出	△92,000	△112,000
貸付金の回収による収入	5,253	7,811
営業保証金の差入による支出	△119,116	△3,872
営業保証金の回収による収入	16,188	20,501
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△22,413	－
その他	22,598	△4,057
投資活動によるキャッシュ・フロー	△192,982	92,143
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	30,000	112,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7,540	△6,434
長期借入れによる収入	900,000	260,000
長期借入金の返済による支出	△529,484	△952,059
配当金の支払額	△57,625	△57,834
財務活動によるキャッシュ・フロー	335,349	△644,328
現金及び現金同等物に係る換算差額	△288	△105
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	114,584	300,613
現金及び現金同等物の期首残高	955,287	1,139,055
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,069,872	1,439,669

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

セグメント情報

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成27年４月１日　至　平成27年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント							
	葬祭事業	石材卸売事業	石材小売事業	婚礼事業	生花事業	互助会事業	介護事業	計
売上高								
外部顧客への売上高	2,474,857	960,329	704,197	1,222,173	280,427	803	27,112	5,669,902
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,250	218,949	9,857	111,670	219,616	154,710	―	716,054
計	2,476,107	1,179,278	714,055	1,333,843	500,044	155,513	27,112	6,385,956
セグメント利益又は損失（△）	71,316	68,931	24,361	△56,133	46,975	△42,861	△7,159	105,429

	その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
売上高				
外部顧客への売上高	32,355	5,702,257	1,500	5,703,757
セグメント間の内部売上高又は振替高	31,962	748,017	△748,017	―
計	64,318	6,450,274	△746,517	5,703,757
セグメント利益又は損失（△）	△4,084	101,344	72,362	173,707

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである装販部門であります。

２　調整額の内容は以下のとおりであります。

（１）外部顧客への売上高の調整額は、持株会社である当社の不動産収入であります。

（２）セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社利益385,508千円、各報告セグメントからの受取配当金の消去額△273,000千円、セグメント間取引消去4,904千円、のれん償却額△4,767千円、その他の調整額が△40,282千円であります。なお、全社利益は、当社の主たる収益である各連結子会社からの経営管理料収入及び不動産賃貸料収入等によって生じた利益であります。

３　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

当第２四半期連結会計期間において、当社は有限会社牛久葬儀社の全株式を取得し連結子会社といたしました。当該事象によるのれんの増加額は当第２四半期連結累計期間においては81,976千円であります。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成28年４月１日　至　平成28年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント							
	葬祭事業	石材卸売事業	石材小売事業	婚礼事業	生花事業	互助会事業	介護事業	計
売上高 外部顧客への売上高	2,621,093	884,972	662,809	1,235,596	276,830	724	45,589	5,727,615
セグメント間の内部売上高又は振替高	899	151,888	17	112,765	241,550	188,000	―	695,120
計	2,621,992	1,036,861	662,826	1,348,361	518,380	188,724	45,589	6,422,736
セグメント利益又は損失(△)	85,903	91,297	54,999	23,996	66,043	△14,063	△429	307,746

	その他 （注）１	合計	調整額 （注）２	四半期連結損益計算書計上額 （注）３
売上高 外部顧客への売上高	38,872	5,766,487	1,500	5,767,987
セグメント間の内部売上高又は振替高	34,497	729,617	△729,617	―
計	73,369	6,496,105	△728,117	5,767,987
セグメント利益又は損失(△)	△3,469	304,276	119,739	424,016

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである装販部門であります。

２　調整額の内容は以下のとおりであります。

（１）外部顧客への売上高の調整額は、持株会社である当社の不動産収入であります。

（２）セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社利益416,777千円、各報告セグメントからの受取配当金の消去額△294,000千円、セグメント間取引消去5,359千円、のれん償却額△6,238千円、その他の調整額が△2,158千円であります。なお、全社利益は、当社の主たる収益である各連結子会社からの経営管理料収入及び不動産賃貸料収入等によって生じた利益であります。

３　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

霊園開発予定地(福島県福島市）について、霊園としての使用見込みがなくなり遊休の状態となったため、全社において減損損失5,900千円を計上しております。

４．施行件数の状況

当社グループのセグメントのうち主な事業である葬祭事業及び婚礼事業に係る葬儀、婚礼施行件数の当第２四半期連結累計期間における状況は次のとおりであります。

（１）葬祭事業

	当第２四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年９月30日） 葬儀施行件数（件）
株式会社たまのや　福島事業部	604
株式会社たまのや　郡山事業部	136
株式会社たまのや　会津事業部	238
株式会社たまのや　催事事業部	994
有限会社牛久葬儀社	127
合計	2,099

（注）催事事業部における葬儀施行件数は、株式会社ＪＡライフクリエイト福島との業務受託契約による施行件数であります。

（２）婚礼事業

	当第２四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年９月30日） 婚礼施行件数（件）
福島地区	94
郡山地区	173
会津地区	44
合計	311

（注）上記施行件数については、パーティー・宴会等の施行件数は含まれておりません。